

2020年06月16日(火)【外為Lab】松田哲
タイトル:【第2次感染に危機感を持っています】

新型コロナウイルスの第2次感染が目先の相場のテーマになっている。

感染が、ほぼ終了したとされた韓国や、中国でも、新たに感染者が見つかり、第2次感染拡大を阻止するために、対応策が示されている。

日本の東京を見ても、昨日(6月15日)、一昨日(6月14日)と、それぞれ40人を超える新たな感染者が発表されている。

しかしながら、今のところ、日本(東京)の場合は、以前のように、厳しい対応策は採られておらず、むしろ、対応策は緩める方向にある。

プロ野球やプロ・サッカーは、無観客試合で開催される。

経済を活性化するためには、対応策を厳しくする訳にはいかない、ということなのだろう。

確かに、自宅待機や自粛要請で、気分は委縮している。

少しは息抜きをしたい、という気持ちは、今の日本国民の本音だろう。

私も、そんな気持ちだ。

しかし、「感染症」を熟慮するならば、その対応策を緩めれば、その感染が拡大することは、自明の理。

だから、第2次感染拡大を阻止することはできないのだろう、と危惧している。

ただし、個人的な意見に過ぎないが、一般論として、日本人を含むアジア人は、この新型コロナウイルスに、強い、と考えている。

もともと、アジア人が、抗体を持っている、とか、遺伝的な理由がある、とか、様々な理由が考えられるが、その科学的な理由は、現時点で、明らかになっていない。

いずれ、時間が経過すれば、その理由は解明されるに違いない。

さらに、個人的な意見に過ぎないが、例えば、日本人の遺伝的な特徴として、小腸の長さが長いこと、が挙げられるのではないかと考えている。

日本人の小腸は、欧米人に比べて、1メートルほど長い。

最近の研究で、抗体が小腸と関係が深いことが明らかになっている。

(抗体が小腸で作られること、など)

繰り返すが、現時点では、日本人を含むアジア人が、新型コロナウイルスに、強い、とされる理由は、明らかになっていないのだが、いずれ、研究が進めば、その理由も判明する、と期待している。

そして、それは、日本を含むアジアにとって、非常にラッキーであった、と感ずる時が来るであろう、と予測している。

+++++

(2020年06月16日東京時間15:25記述)